事業番号　0949

平成２７年度行政事業レビューシート（　厚生労働省　）

事業名	国立感染症研究所施設整備経費			担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者
事業開始年度	平成２４年度	事業終了（予定）年度	平成２６年度	担当課室	総務部会計課	猪股　研次
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	－	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－			関係する計画、通知等	－	
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	新宿区の点検調査において「不健全」と判定され、早期の改善が必要であるとの報告を受けていたが、東日本大震災の影響により、この擁壁の一部に亀裂等の破損被害が生じたため、破損個所の改修を行うことにより、隣接する家屋・私立大学への安全確保を図る。					
事業概要（5行程度以内。別添可）	東日本大震災により被害を受けた擁壁の改修工事の実施。 1．既設擁壁の解体・撤去 2．新規擁壁の構築					
実施方法	直接実施					

予算額・執行額（単位：百万円）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求
予算の状況	当初予算	53	－	－	－	－
	補正予算	－	－	－	－	
	前年度から繰越し	－	50	47	－	－
	翌年度へ繰越し	▲ 50	▲ 47	－	－	
	予備費等	－	－	－	－	
	計	3	3	47	0	0
執行額		3	3	47		
執行率（%）		100%	100%	100%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 26 年度
目標値として3.5点以上の獲得を目指す。	毎年行っている研究課題評価の総合点を間接指標として用いる。（26年度の点数はまだ公表していない。）	成果実績	点	4.2	4.4	集計中	
		目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5
		達成度	%	120%	126%	集計中	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
国立感染症研究所が施工した施設整備の完了	活動実績	件	－	－	1	
	当初見込み	件	－	1	1	－

単位当たりコスト

算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
X 執行額/Y 工事完了件数	単位当たりコスト	百万円	－	－	47	－
	計算式	X/Y	－	－	47百万円/1	－

平成27・28年度予算内訳（単位：百万円）

費　目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
施設整備費	－	－	
計	0	0	

事業所管部局による点検・改善

	項　目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	被害を受けた擁壁の安全を図ることは、当研究所のみならず、隣接する家屋及び私立大学への安全性の確保のため、重要度が高く、優先度が高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	被害を受けた擁壁の安全を図ることは、当研究所のみならず、隣接する家屋及び私立大学への安全性の確保のため、重要度が高く、優先度が高い事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	被害を受けた擁壁の安全を図ることは、当研究所のみならず、隣接する家屋及び私立大学への安全性の確保のため、重要度が高く、優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	会計法に基づき適切に契約を締結し、競争性を確保している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	－
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	－
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の適切な遂行に必要な使途に限定して執行している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	－
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	－
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	－
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業計画時に見込んだ内容を達成できている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	－
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）	-	－

所管府省・部局名	事業番号	事業名
－	－	－
－	－	－

点検・改善結果	点検結果	適切な事業計画を立案し、競争契約を実施することにより、合理的且つ低価な発注を行うよう努める。また近隣の住民、大学等の安全を考慮し、協議、調整を適正に行い、速やかに工事を進める事が必要である。 平成25年度においては、年度末の完了を目指して努力したが、降雪による積雪の解消を待つ必要があったため、工事の休止を余儀なくされたことから、工事を完了することができなかった。
	改善の方向性	平成26年度限りの経費。 平成26年度においては、前年度に事故繰越（明許繰越後）の承認を受け、4月8日に工事を完了した。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

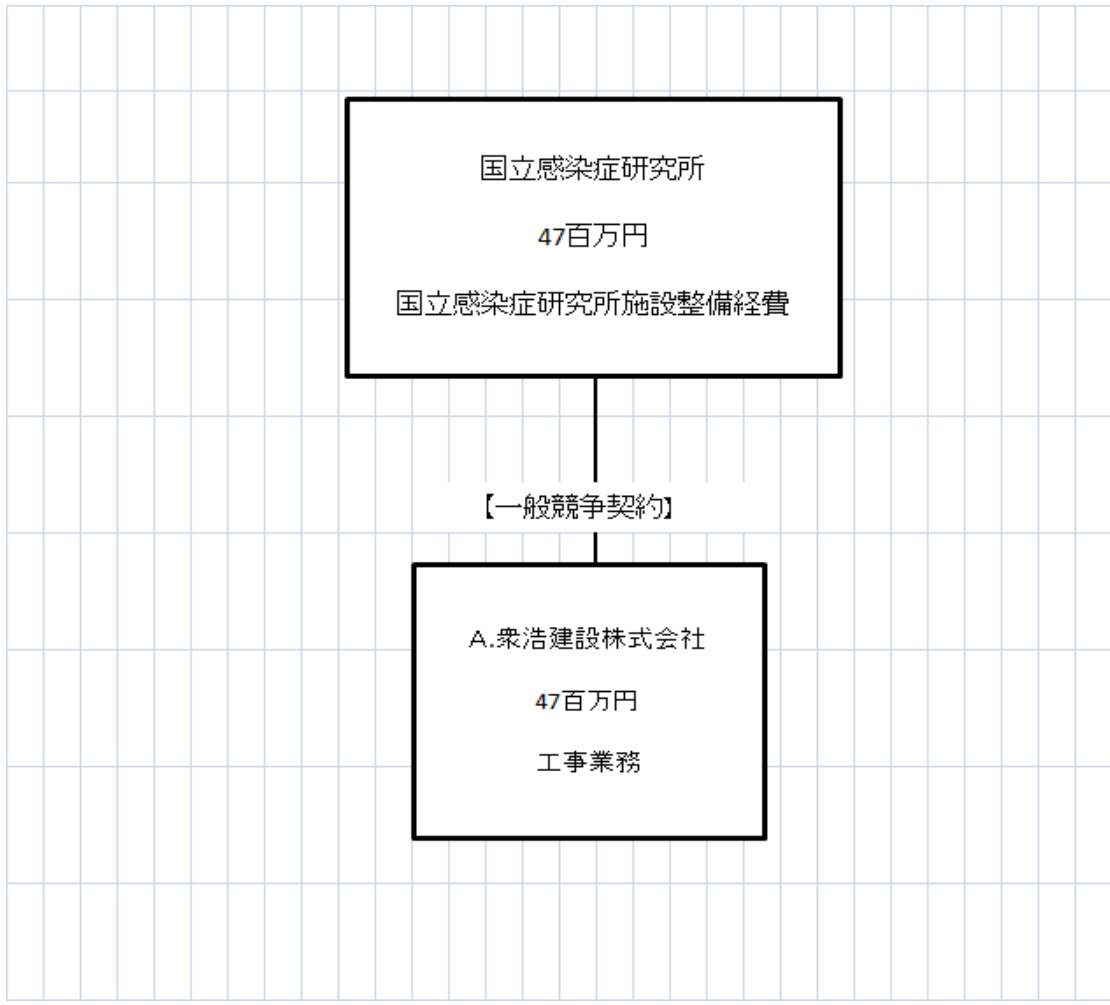
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	－	平成23年度	－	平成24年度	新24-0054		
平成25年度	946	平成26年度	945				

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.衆浩建設株式会社

費　目	使　途	金　額（百万円）
工事	国立感染症研究所戸山庁舎東側擁壁改修工事	47
計		47

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額（百万円）	入札者数	落札率
1	衆浩建設株式会社	国立感染症研究所戸山庁舎東側擁壁改修工事	47	1	99.8%